

地区拡大地図

NO.5
地区名：蜷川

凡例(地区拡大地図)

- 土石流危険渓流・区域
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 津波浸水想定区域
- 避難場所
- 災害時要援護者施設
- 役場・支所
- 駐在所
- 消防署・消防屯所
- 医療施設
- 災害用ヘリポート
- 安政津波の碑
- 港湾・漁港
- 公園
- ため池
- 主要道路

津波に関するサイン(目印)

- 海拔表示板**
その場所の地盤の高さを表示しています。
5.0m
- 津波危険区域**
津波浸水の被害の恐れがある区域を意味します。
- 津波避難場所**
高知県統一のマークです。
- 津波避難場所**
国(消防庁)統一のマークです。
① 避難高台
② 避難ビル(避難可能な建物)

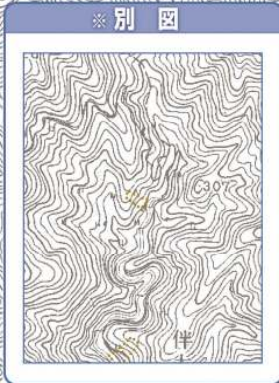
防災関連施設リスト

種別	名称	電話番号
消防屯所	蜷川消防屯所	

避難場所リスト

避難場所名	区分	電話番号
仲分川集会所	①	
八幡宮	①	
伴太郎集会所	①	
米原集会所	①	
蜷川ふれあいセンター	①	
蜷川健康支援センター	②	
蜷川生活改善センター	①	

区分の①は一次避難場所、災害時にまず避難する一時的な場所・施設。②は二次避難場所、避難が長期にわたる場合の施設です。
※災害の状況により二次避難場所を変更する場合があります。



0 100m 500m 1,000m
1 : 12,500

地震が起きたら

地震発生 命を守る **グラッ!**
ときたら

- ・落ち着いて、自分の身を守る
- ・素早く火の始末
- ・ドアや窓を開けて逃げ道を確認

1~3分 家族を守る

- ・家族の安全を確認
- ・火元を確認・初動消火
- ・必需品を手元に用意
- ・余震に注意

5~10分 地域を守る

- ・隣近所の安全を確認
- ・ラジオなどで情報を確認
- ・電気のブレーカーを切る
- ・家屋倒壊などのおそれがあれば避難

10分~数時間 避難生活では **しんまん**

- ・協力して消火・救出活動
- ・災害情報、被害情報の収集
- ・壊れた家には入らない
- ・避難場所では集団生活のルールを守る

津波、かけ崩れの危険が予想される地域はとにかく早く避難!
津波の場合、収まるまで少なくとも6時間かかるので津波警報が解除されるまで、家に原らない!

大雨の時は土砂災害に注意

雨に注意しよう

100%

土砂災害の多くは雨が原因で起こります。1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上の降雨量になったら、十分な注意が必要です。

逃げ方を覚えましょう

土石流は速度が速いため、流れを背にしたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにしましょう。

非常持出品

災害に備えて、非常持出品を準備しましょう

- 非常食品
3日分の水と食料が目安
- ラジオ
正確な情報収集が大切
- 貴重品
小銭も意外に役に立つ
- 救急医療品
万一のけが等に備えましょう
- 懐中電灯
年に一度は、電池のチェックを忘れずに